

MJ進路通信：「進路指導室から、未来へ」



～ようこそ、アップデートされた4年目の案内所へ～

前橋女子高校進路指導部

令和8年度 第22号

令和8年7月13日（月）発行

■群馬県高校生東大合格セミナーの様子（7/12）

東京大学を目標とする県内の高校3年生を対象に行われたセミナー。前女を会場とし、駿台予備校の講師を招いて東大合格のノウハウを伝えていただきました。

2年次に英数国（現代文）で実施したセミナーの第2弾ということで、今回は理社国（古典）での実施でした。文理別に分かれて難関大学合格のノウハウを共有し、他校の生徒との情報交換を通じて互いのモチベーションを高め合う機会となりました。



夏休み中（8/24）には群馬県の高校1年生を対象にした東京大学セミナーが現地東京大学で行われ、200名を超える県内の高校生が集まり東大の空気を吸ってきます（前女OGの東大生も協力してくれます）。

■受験にはあまりプラスにならない受験の話

さまざまな業界にはそれぞれに「業界用語」と言われる独特な言い回しや慣習があり、大学受験の世界においても同様です。皆さんの入試に直接役に立つものではありませんが、気軽な読み物として少々マニアックな話題を紹介します。

■共通テストの識別記号の規則性

大学進学を希望する受験生のほとんどが受験する共通テスト。問題冊子の表紙を見たことのある人は少ないと思います（大学入試センターHPで見られます）が、問題の表紙には、教科名の横に小さく㊦のような記号が書かれています。この記号、いったいどんな意味をもつのでしょうか。

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

数 学 ①

（100点
70分）

I 注 意 事 項

1 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目	ペ ー ジ	選 択 方 法
『数 学 I、数 学 A』	4～29	左の2科目のうちから1科目を選択し、解答しなさい。
『数 学 I』	30～55	

- 2 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の解答科目欄にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 5 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

この記号は、共通テストの識別記号といわれ、その年に実施される全教科の問題の表紙には同じアルファベットの記号が記載されています（配布の間違いを防止する意味もあるのかもしれませんが）。異なる実施年や本・追試には異なる識別記号が用いられますが、実は概ねアルファベットの逆順に登場しています（右の表参照）。

Z から始まる記号が D までで終わっているのは数学 A・B・C との混乱を避けるためでしょうか。また、3回に1回程度文字が飛んでいるのは予備問題に付されたアルファベットがあるからと推測されます（共通テストの内情はもちろん秘密事項ですが、毎年本試験、追試験、そして何かトラブルがあったときのための予備問題が用意されているのでは、と言われています）。

なお、平成23年だけその識

別記号が㊦というイレギュラーな記号になっています。

もしかしたらこの年は直前に何か問題（出題ミス？）が発覚し、平成18年か19年のときに作ってお蔵入りし

センター試験	本試	追試
H18	V	T
H19	R	Q
H20	N	K
H21	M	J
H22	G	L
H23	S	H
H24	F	D
H25	Z	Y
H26	X	W
H27	V	T
H28	S	R
H29	Q	P
H30	N	L
H31	K	J
R2	H	G

共通テスト	本試	追試
R3	Y	X
R4	W	V
R5	T	S
R6	R	Q
R7	P	N
R8	L	K
R9	J?	H?

ていた予備問題が急遽土俵に上がったのかもしれませんがね（あくまで筆者の想像（妄想）です）。

そして実はこの平成 23 年は、大学入試に関わる教員の多く、そして当時の受験生が忘れることのできない「伝説の数学ⅠA 問題」が出題された年でもありました。数学ⅠA だけで前年から平均が 20 点近く下がるほどの難問が（しかも複数題）登場し、試験会場全体が阿鼻叫喚と化した、受験生にはトラウマになりかねない入試となりました（「2010 年 センター試験 数学 惨劇」などで検索すると当時の生々しい状況が公開されています・・・怖がりの人は見ない方がよい?）。『受験生は、早々にこの問題に見切りをつけて確率の問題に着手することにした。しかし、本当の地獄はここからだった。』とか、なかなか刺激的な実況中継があります。

△ABC を $AB = 3$, $BC = 4$, $CA = 5$ である直角三角形とする。

(1) △ABC の内接円の中心を O とし、円 O が 3 辺 BC , CA , AB と接する点をそれぞれ P , Q , R とする。このとき、 $OP = OR = \frac{\text{ア}}{\text{イ}}$ である。また、 $QR = \frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$ であり、 $\sin \angle QPR = \frac{\text{オ}}{\text{キ}}$ である。

(2) 円 O と線分 AP との交点のうち P と異なる方を S とする。

このとき、 $AP = \sqrt{\frac{\text{クケ}}{\text{ス}}}$ であり、 $SP = \frac{\text{コ}}{\text{サシ}}$ である。

また、点 S から辺 BC へ垂線を下ろし、垂線と BC との交点を H とする。

このとき、 $HP = \frac{\text{セ}}{\text{ソ}}$, $SH = \frac{\text{タ}}{\text{チ}}$ である。

したがって、 $\tan \angle BCS = \frac{\text{ツ}}{\text{テ}}$ である。

(3) 円 O 上に点 T を線分 RT が円 O の直径となるようにとる。

このとき、 $\tan \angle BCT = \frac{\text{ト}}{\text{ナ}}$ である。よって、 $\angle RSC = \frac{\text{ニヌ}}{\text{ナ}}$ であり、 $\angle PSC = \frac{\text{ネノ}}{\text{ナ}}$ である。

[2010 センター試験 数学Ⅰ・数学A 第3問]

その年は数学のみならず物理や化学も大幅難化し、理系としては過去最低の平均点となったという恐ろしい年だった訳ですが、もしこの年に予定通り㊶(?)の問題が使われていたらもっと穏やかな入試になっていたのかも、と思うと何だか運命に振り回される受験生が不憫に思われます。

ちなみに、この規則性が続けば来年1月の共通テストは㊶という記号が書かれているかもしれません。㊶が突然出てきたら何かあったのかもしれませんが（もちろんそれを知ったところで何か有利になるわけではないですが、監督の先生に「もしかして、直前に何かありました？」

なんて聞いたら「お主、ただ者ではないな！（某国のスパイか！？）」と警戒されるかもしれませんね（笑）。

まあ、受験には全く影響のない話なので、そんなくだらないことを考えている暇があったら勉強に集中しましょう。

■日本人は「りくりゅう」が好き

メディアの影響もあるでしょうが、日本人は同列のペアやグループを、その頭文字をつなげてひとくくりにするのが好きなようで、一昔前は「オグシオ（古い!）」、今は「りくりゅう」など、2人組のスポーツ選手は有名になるたびに同様な愛称をつけられて呼ばれている気がします。

大学においても、同列（同レベル?）の大学をグループ化する呼び方は以前から使われており、有名なのは MARCH あるいは G-MARCH（明治・青山学院・立教・中央・法政+学習院）でしょうか。そのほかにも「日東駒専（日本・東洋・駒澤・専修）」や関西の難関大学グループ「関関同立（関西・関西学院・同志社・立命館）」などは耳にしたことがある人も多いと思います。このような呼称については志望校選びの際の目安になるという面もあり、受験日の重複などを踏まえて受験校を決めるために戦略的に活用されることも多いですが、これこそが日本の大学入試の象徴的な負の一面で日本の教育をダメにしている（偏差値偏重教育）諸悪の根源だと猛批判する有名脳科学者もいます。

とはいえ、このような「グループ化」の動きはとどまることを知らず、「大東亜帝国（大東文化・東海・亜細亜・帝京・国士館）」とか「成成明学獨国武（成城・成蹊・明治学院・獨協・国学院・武蔵）」とか、関西だと産近甲龍（京産・近畿・甲南・龍谷）」など、ちょっと見た目的におどろおどろしいものまで、女子アイドルグループ並みのまさに雨後の筍状態。

もちろん、難易度を参考にして志望校を絞っていくのは大事ですが、大学を名前や偏差値だけで判断するのも考えもの。是非皆さんには、看板だけでなくその中身までよく見て大学を選んでほしいと思います。ちなみに最近出てきたグループは「東芝電工」。なんだか扇風機をつくっている企業のような感じがしますが、皆さんこれがどの大学群を表しているのか、分かりますか？分からなかったら担任の先生にでも聞いてみてください。理系、特に工学系志望の人は、まず東芝電工の内定、いや、合格をしっかりと勝ち取ることが、第一志望合格への第一歩かもしれませんね。